

KPIの評価・検証について

令和4年8月29日

内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

内閣府地方創生推進事務局

1. KPIの達成状況について

小さな拠点・地域運営組織に係るKPI設定・見直しの経緯

| | | 第1期 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」 (2014.12.27閣議決定) | 第2期 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」 (2019.12.20閣議決定) | デジタル田園都市国家構想 総合戦略 (仮称) |
|-------------|------|---|--|--|
| 有識者会議 (※1) | | 2016.12.13 最終報告 | | |
| 有識者懇談会 (※2) | | 2017.10.20 第1回懇談会 | 2019.10.11 第2回懇談会 | 2022.8.29 第3回懇談会 |
| 小さな拠点 | 量的指標 | 2015.12.24改訂 形成数 (※3) → 1,000 (2020年) → (2020年) | | 【基本目標4】 形成数1,800 (2024年度) |
| | 質的指標 | | | 地域運営組織の形成比率90% (2024年度) |
| 地域運営組織 | 量的指標 | 2015.12.24改訂 形成数 3,000 (2020年) → 5,000 (2020年) | 2017.12.22改訂 | 【横断的な目標1】 形成数7,000 (2024年度) |
| | 質的指標 | | | 収入の確保に取り組む 地域運営組織の割合60% (2024年度) |

(※1) 地域の課題解決のための地域運営組織に関する有識者会議
 (※2) 小さな拠点・地域運営組織の形成推進に関する有識者懇談会
 (※3) 「KPIの具体的な数値は、各地方公共団体が策定する「地方版総合戦略」を踏まえ設定する」とされていた

第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」におけるKPIの達成状況

※2022年度の値については2022年8月29日時点の速報値であり、今後変更となる可能性がある

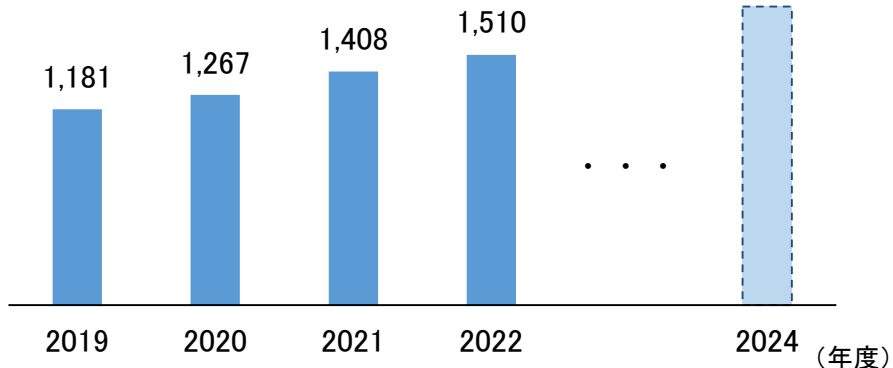
【基本目標4】ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

4-1 活力を生み、安心な生活を実現する環境の確保

(1) 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実 (2) 魅力的な集落生活圏の形成 (「小さな拠点」の形成等)

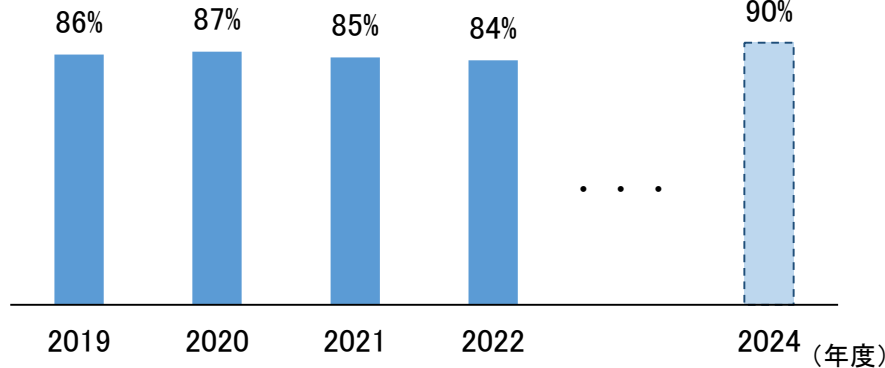
「小さな拠点」の形成数

目標値
1,800



「小さな拠点」の形成数に対する
地域運営組織が形成されている比率

目標値
90%



※地方版総合戦略に位置付けのある小さな拠点を対象とする

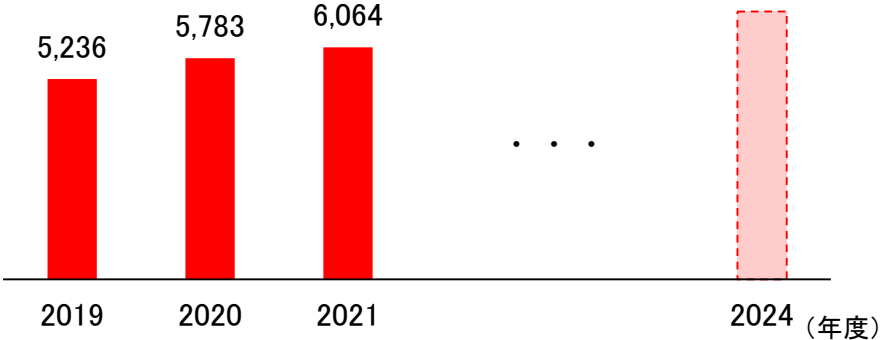
【横断的な目標1】多様な人材の活躍を推進する

横1-1 多様なひとびとの活躍による地方創生の推進

(3) 地域コミュニティの維持・強化 ii 地域運営組織の持続的な取組の支援

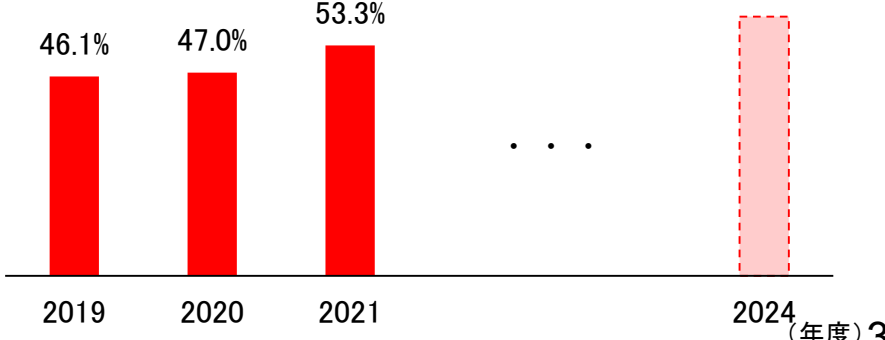
住民の活動組織（地域運営組織）の形成数

目標値
7,000



生活支援などの自主事業の実施等による
収入の確保に取り組む地域運営組織の割合

目標値
60%



2. 今後の施策評価のあり方について

地域運営組織に係るKPIに対する示唆

第1階層：量的拡大に向けて

地域運営組織をいかに全国に普及させるか

KPI：地域運営組織の形成数【2024年度までに7,000団体】

第2階層：質的向上に向けて

地域運営組織の活動内容をいかに深めていくか

KPI：生活支援などの自主事業の実施等により収入の確保に取り組む地域運営組織の割合【2024年度までに60%】

新たなKPI設定の可能性の追求

「地域の課題解決のための地域運営組織に関する有識者会議最終報告」
(平成28年12月13日)
の方向性に合致したKPI設定

EBPMアドバイザリーボード（令和3年11月2日）（※）における指摘

（※）EBPM（Evidence-based Policy Making）推進の一環として、
経済財政諮問会議の下部組織として設置。

- 住民の満足度が何によって上がったのか、下がったのかというところはしっかり押さえておかないといけない。満足度の背景にある取組をしっかりと押さえていくというのが重要。
- 組織自体の今、足元での活動を捉えることも重要であるし、中長期的な目線も重要。
- 何年かに1回調べて分かるという形のものではEBPMに結びつきにくい。もう少し頻度を上げて、モニタリングできるような指標はどのようなものなのかということを視野に置いて検討しなければならない。
- 満足度の項目につながるような政策を意識し、体系的に満足度への効果が把握できるような仕組みを用意しておいたほうがいい。
- モニタリングをしないとイケない。1つの地域を選択してやってみるといったのもいい。

本日は、
新たなKPI及び
KPI見直しの可否について
議論していただきたい

「経済・財政一体改革エビデンス整備プラン」の対象施策

1. 社会保障

- 雇用・就労に係る施策
(職業訓練等)
- 特定検診
- 医療費適正化の取組
- 医療扶助

2. 社会資本整備等

- ICTの活用
- 効率的・効果的な老朽化対策の推進
- スマートシティ
- PFI/PPP

3. 地方行財政改革等

- 自治体の業務改革
- 自治体の広域連携
- 地域運営組織
- 地方創生推進交付金

4. 文教・科学技術

- 教育の情報化の加速
(主にGIGAスクール構想)
- 研究力強化
・若手研究者支援総合パッケージ
- スポーツ振興

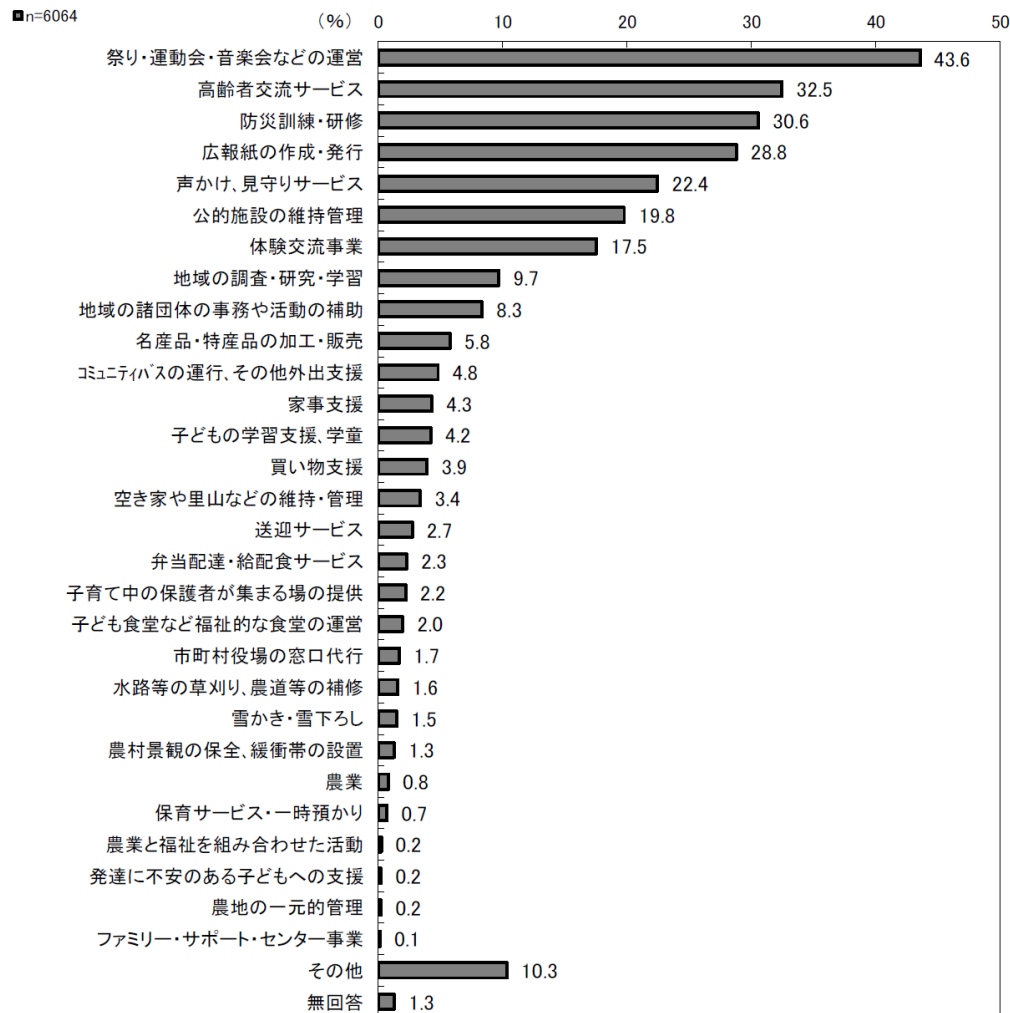
経済・財政一体改革エビデンス整備プラン

(令和3年8月30日 経済・財政一体改革推進委員会EBPMアドバイザリーボード) をもとに内閣官房作成

地域運営組織の活動内容

地域運営組織の活動内容は多岐にわたっており、上位だけでも「祭り・運動会・音楽会などの運営」「高齢者交流サービス」「防災訓練・研修」などとなっている。

実施している活動のうち、主要な活動であると考えているもの

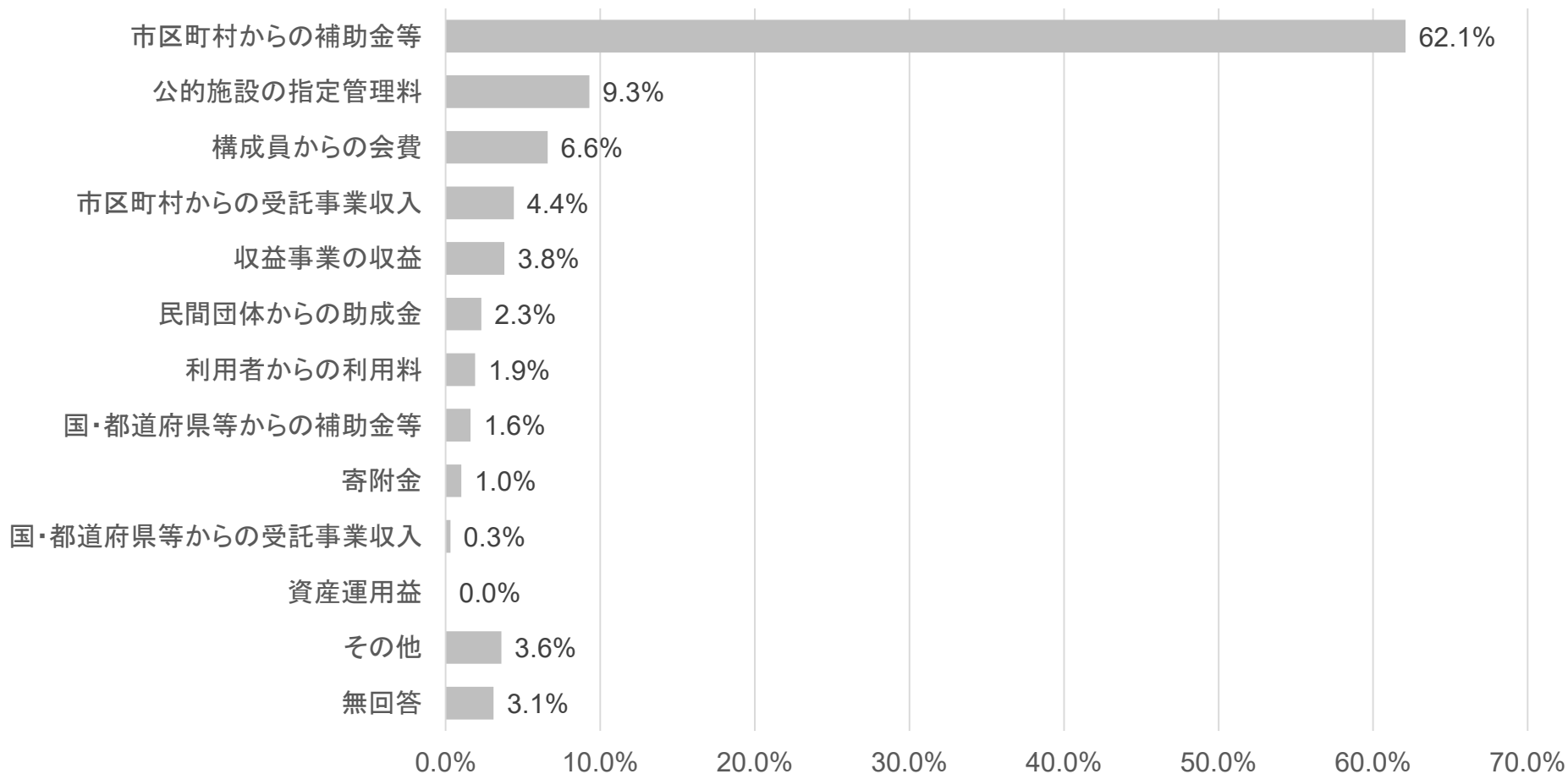


地域運営組織の収入源（再掲）

地域運営組織が収入源の第1位として選択した項目は、「市区町村からの補助金等」（62.1%）が最も高い割合を占めている。

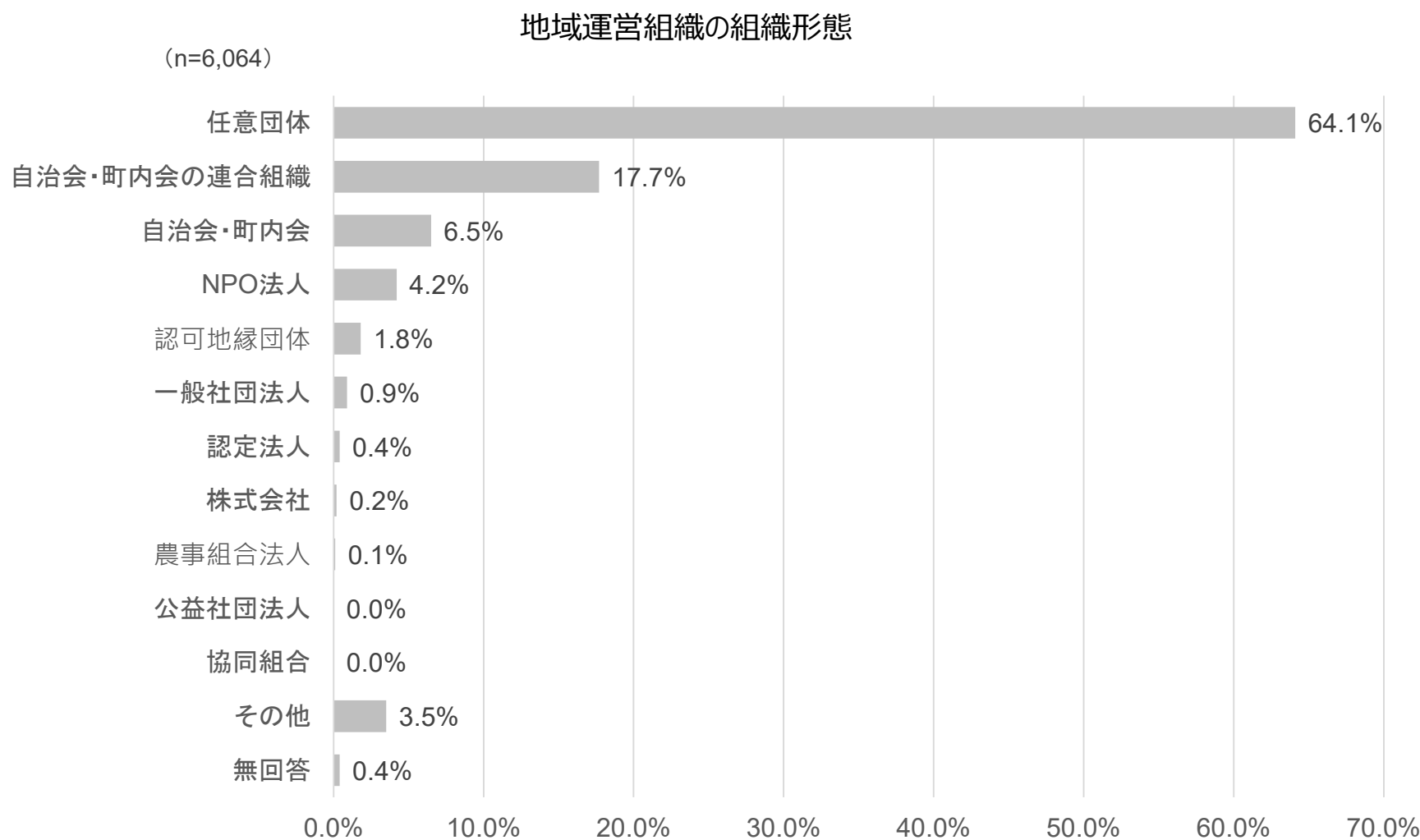
(n=6,064)

地域運営組織の収入源（第1位）



地域運営組織の組織形態（再掲）

「任意団体」が64.1%を占める。「自治会・町内会の連合組織」（17.7%）・「自治会・町内会」（6.5%）を合わせると、88.3%が法人格を持たない任意団体となっている。

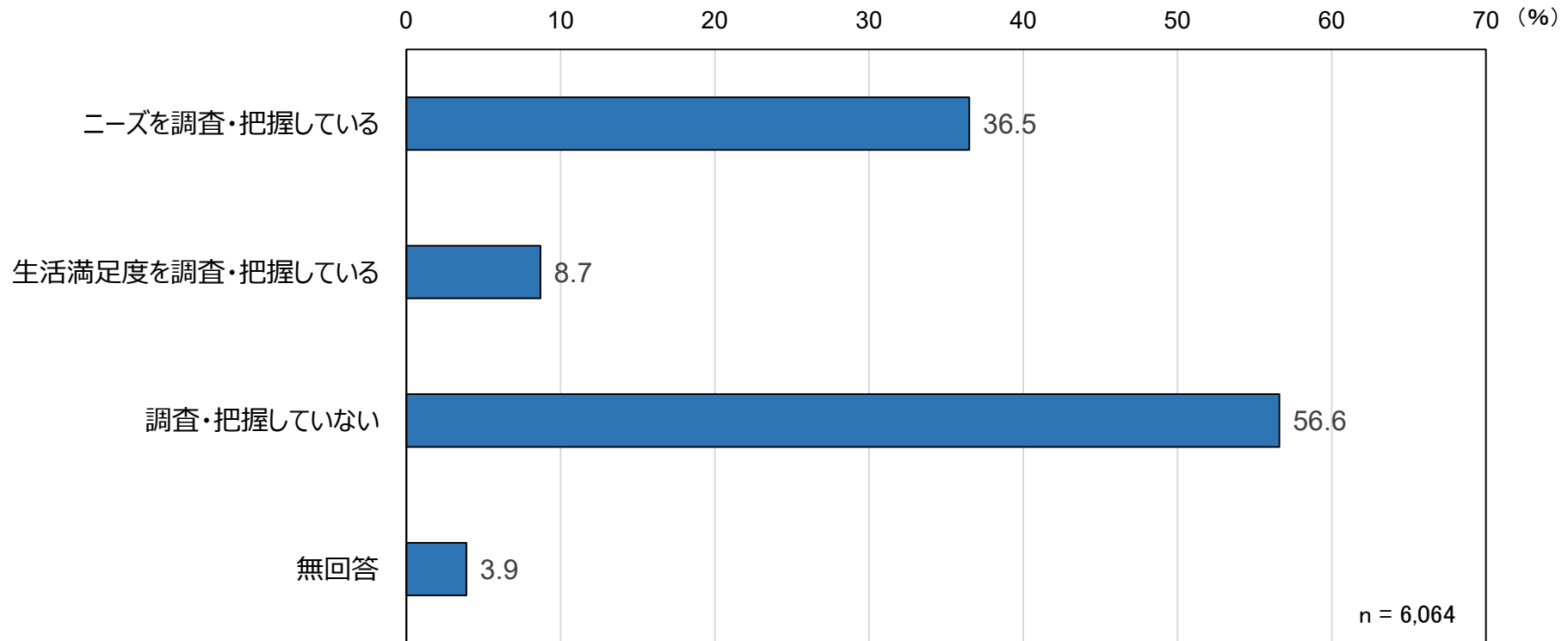


（出典）総務省 令和3年度地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する調査研究事業報告書

地域運営組織における生活満足度の調査・把握

地域住民のニーズや生活の満足度の把握状況については、「調査・把握していない」が56.6%、「ニーズを調査・把握している」が36.5%、「生活満足度を調査・把握している」が8.7%となっている。

地域住民のニーズや生活の満足度の把握状況



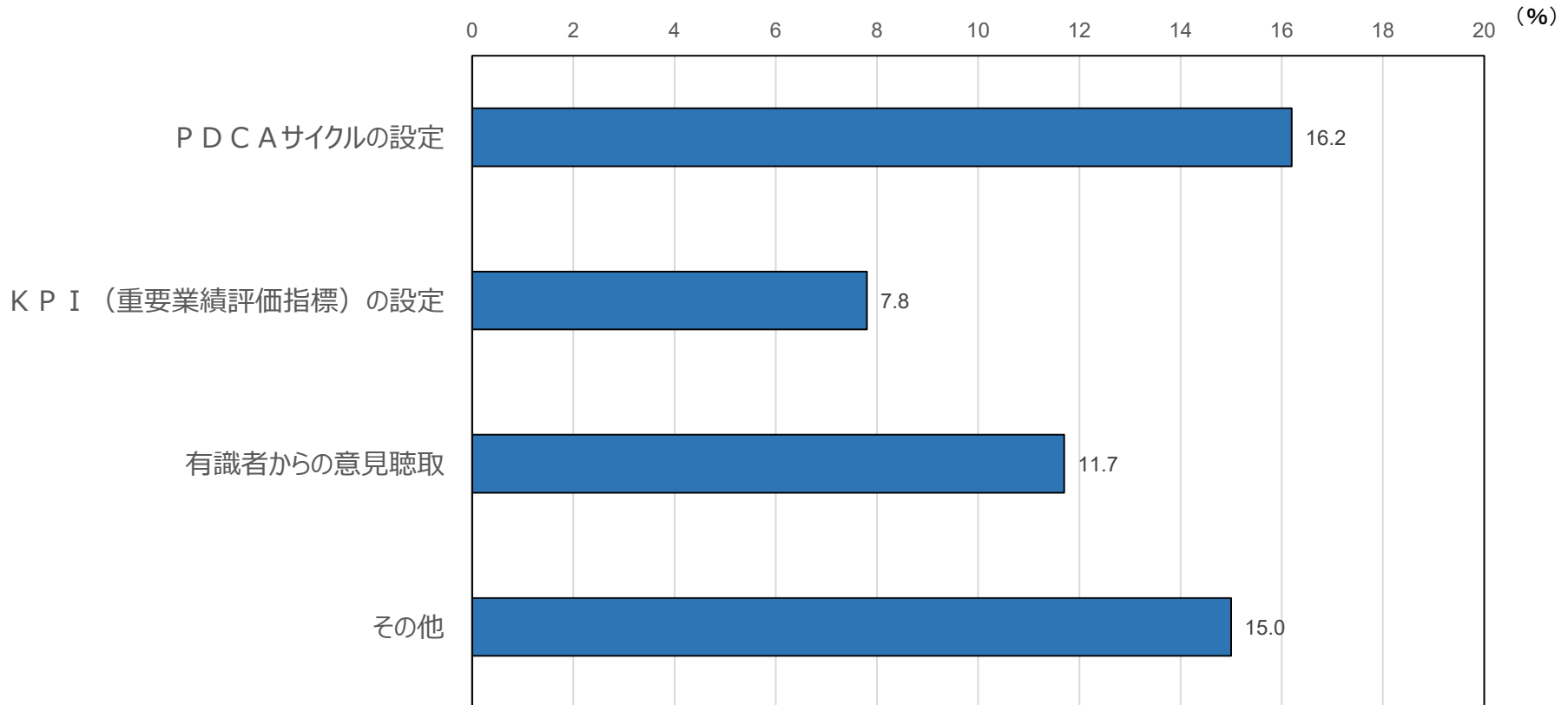
(出典) 総務省 令和3年度地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する調査研究事業報告書をもとに内閣官房作成

地域運営組織（小さな拠点）における活動評価の状況

※2022年8月29日時点の速報値であり、今後変更となる可能性がある

「小さな拠点」における地域運営組織のうち、約38%において何らかの評価を行っているが、**KPIを設定している地域運営組織は約7.8%**にとどまっている。

活動評価の状況



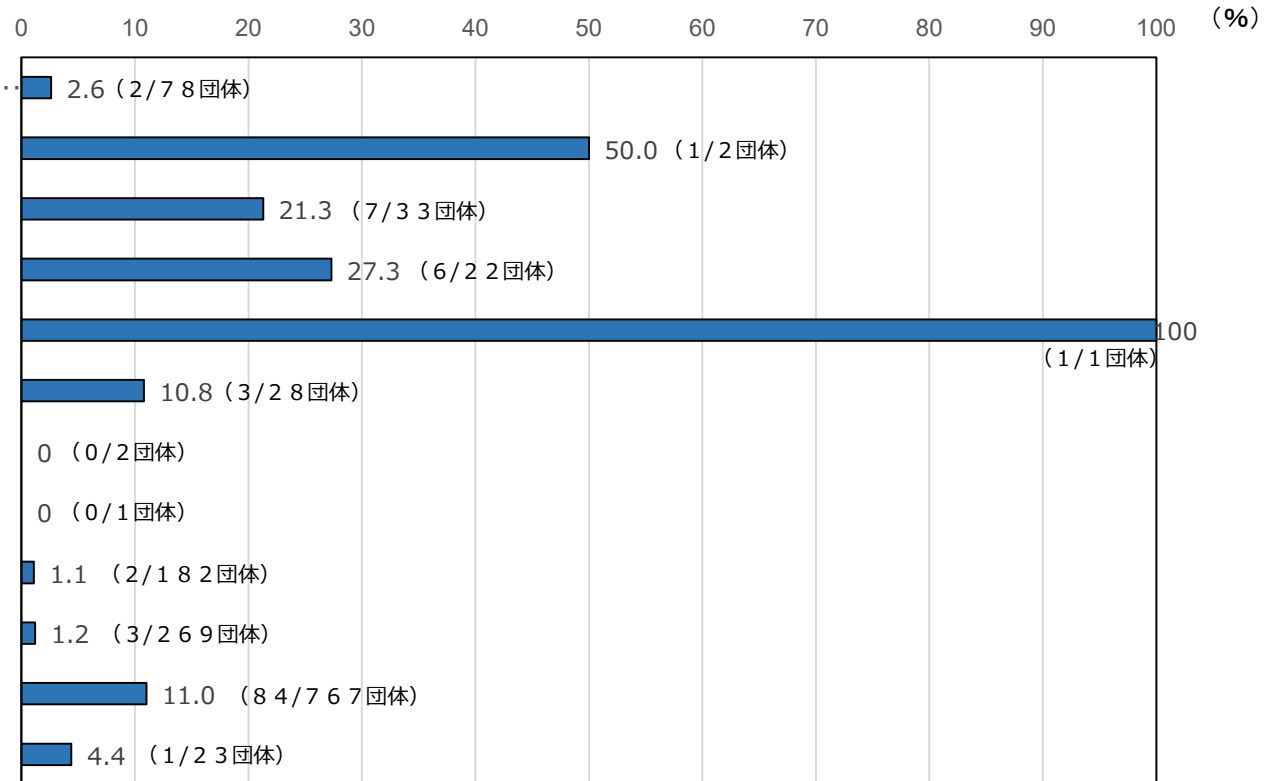
「その他」の例：総会の実施、報告書の作成、外部組織や外部人材からの評価、住民からの意見聴取など

地域運営組織（小さな拠点）におけるKPI設定の状況

※2022年8月29日時点の速報値であり、今後変更となる可能性がある

「小さな拠点」における地域運営組織のうち、法人の約12%、任意団体の約7%においてKPIを設定している。

KPIを設定している割合（組織形態別）



KPIの設定例：年間雇用人数、月平均の物販売上、デマンド交通の月別利用者数など

小さな拠点・地域運営組織に係るKPIの現在地

※2022年度の値については2022年8月29日時点の速報値であり、今後変更となる可能性がある

| | 地域運営組織 | 小さな拠点 |
|-----|---|---|
| 量 | 形成数7,000団体 (2021年度時点6,064団体) | 形成数1,800箇所 (2022年度時点1,510箇所) |
| 質 | | 「小さな拠点」の形成数に対する 地域運営組織が形成されている 比率90% (2022年度時点83.8%) |
| | 生活支援などの自主事業の実施等による 収入の確保に取り組む地域運営組織の割合60% (2021年度時点53.3%) (2021年度時点61.5%) | |
| 量×質 | 目標：4,200団体 現状：3,233団体 (達成率77%) | 目標：972箇所 現状：778箇所 (試算値) (達成率80%) |